

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第34号 平成25年10月19日

祐介嬉しい今期初ヒットが適時打!

光希11奪三振 打線もまあまあ

	1	2	3	4	5	6	7	R
C	0	0	0	0	1	0	0	1
G	1	3	1	0	4	0	×	9



10/19(土)金井公園野球場にて、今期のKSC予選リーグをクレージーナイツと行った。恐らく残り1試合は未消化になる事が想定されるため、このゲームをもって、予選リーグは終了となるだろう。決勝トーナメントへ弾みをつけるには、今日のゲームをきっちり勝つ事が重要。そんなゲームのマウンドには光希が上がった。テーマは与四球を減らす事、そんなテーマを以て初回を迎えたが、何と初回はボール無のオンリストライクで二者を三振に斬る上々の立ち上がりを見せた。翌2回には、三者連続三振でチーム新記録を更新する勢いを見せた。ゲームが動いたのは、初回の攻撃、先頭は、打席に立っていただけで終わったが、二番の智は、粘って三遊間を抜き出塁、その後三番の時に二盗を決め捕手の送球エラーの間に三塁まで到達し、一死三塁とした。この場面に3番光希がライト前に運び、三塁より智を迎え入れ先制した。続く2回の攻撃では、先頭の深沢が頭部に死球を受け出塁、その後次打者の時に2盗を決めたが、これまた捕手の送球エラーの間に3塁まで進塁、この場面に今期末だヒットが無い祐介が打席に入る。1-2のカウントから放った打球は三遊間を抜き嬉しい初安打と適時打を記録した。後続2人が倒れ二死となったが、哲也のセカンドゴロの間に祐介が生還。また、この打球処理を野手が失策、この打球が点々と外野に転がる間に一挙三塁まで進塁、そして2番智の時に投手のWPで哲也が生還し、この回3点を挙げた。3回の光希は内野安打を1本記録されたが、これまたアウトカウントを全て三振で得た。その裏3回の攻撃では、今度は梶原が死球で出塁、続く浅沼が三遊間を抜き、深沢の打席の時にDSを走者が決め、無死二・三塁とした。そして深沢が二球目をきっちり外野に運び犠飛でまた追加点とした。翌4回の相手攻撃、突如光希が乱れ、この日初の死球で出塁を許した。そして次打者の2球目打球はショートよりの三塁へのライナー、これを深沢が捕球を見せたが、クラブ土手に当て、打球は点々と投手方向に、これを裁くために、当然サードの深沢が全力で追いかえたが、これが光希と交錯するプレーに、しかし、光希は慌てず、サードへ送球し、サードでベースランナーを刺した。その後も自身の失策で出塁を許し、二死一・三塁と場面はピンチとなったが、ここも最後は三振で斬り、この回をゼロ封とした。5回にも四球で走者を出し、その後二盗を決められたが、後続二人を抑え、二死三塁とした。が、次打者に今日3個目の四球を出し、二盗を決められた際に、三塁より走者を生還させ、今日初の失点を許した。そしてこの回の3アウト目も三振で斬り、最少失点でこの回を抑え、マウンドを政司に任せた。その裏の攻撃でビックイニングを迎えた。この回先頭の浅沼の打球は、ふらふらと上がったセンターへの飛球、これを野手がクラブに当てたものの捕球出来ず、また打球が点々とする間に二塁まで進塁、次打者深沢はこの日2個目の死球で出塁、後続の投ゴロに間にそれぞれが進塁し、一死二・三塁とした。するする配感なので、ここで得点が欲しい場面、そこでジローにセカンド塁上よりスクイズのサインを出したが、三塁浅沼が気づいていたかが心配。きっちりバントは成功したが、スタートが遅かったが、間一髪ホームインし追加得点、しかし、サードに進塁した深沢が牽制に引っ掛かりアウトになり二死となる。が、先程のスクイズが結果セカンドのFC、次打者政司は四球を選択し、二死二・三塁の場面に哲也がライトのクラブ横を抜くRHを決めこの回4点を追加し今日のゲームをほぼ手中に収めた。最終回は、二死から左線に2ベースを打たれ出塁を許したが、最後の打者を遊ゴロに抑え、ゲームセットとなった。徐々に寒さを感じる時期となってきたので、残りのゲームも今日のように、元気に勝利を目指そう。11月に予定される決勝トーナメント2つを勝利し、KSCの三度目の栄冠を、この勢いでゲットしようぜ!